

はたちの夢

「感謝の気持ちを胸に」

成人代表 渡邊 優佳さん



本日は、私たちのために、このような盛大な成人式を挙げていただき、誠にありがとうございます。また、お祝いや激励の言葉をいただきました町長様をはじめ、ご来賓の方々、さらに、ご臨席をたまわりました多くの皆さまに、新成人を代表して、心より感謝申し上げます。今回、「はたちの夢」と題しての発表とのことでしたが、私自身、改めて、自分の夢について、考えてみました。しかし、何も思い浮かぶものがありませんでした。そこで、今回は、「はたちの夢」ではなく、今現在、私の思うことを発表したいと思います。現在、コロナウィルスの影響により、

以前のように、気軽に外出するなど、前までは当たり前のようでした。最初のことと比べると、だいぶ収まってきましたが、新たな変異株である、オミクロン株の感染者が見られるなど、まだまだ予断を許さず、人生の中で一度しか経験することのできない式典に参加することができ、とてもうれしく思います。この成人式を挙げていただく上で、準備に携わってくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

二十歳という大きな節目を迎え、今までよりも、さらに大人としての自覚や、責任をもった行動が必要になると、改めて感じさせられました。今、自分がこうして二十歳を迎えることができるのは、両親や、お世話になった先生方など、今まで自分と出会い、支えてくださった皆様のおかげです。本当に感謝しております。これからも、皆様への感謝の気持ちを忘れずに、日々の生活を送っていきたいと思います。

本日の式でいただいた沢山の祝福と、今まで私たちが受けてきたすべての御恩に対し、重ねて感謝を申し上げ、簡単ではありますが、新成人代表の挨拶とさせていただきます。

はたちの夢

「後悔のない選択をする」

成人代表 早川 将太さん



本日は、成人を迎えた私たちの門出に際し、このような盛大な式典を開いていただき、誠にありがとうございます。また、お祝いと激励の言葉をいただきました町長様はじめ、ご来賓の方々、ご臨席を賜りました多くの皆様に、新成人を代表して心より深く感謝申し上げます。

さて、この度は「はたちの夢」と題しての代表挨拶ということですが、正直、この晴れの舞台を迎えた当日の今においても、上手く考えがまとまっておりません。なので、自分勝手に大変恐縮ではありますが、今回は、二十歳を迎えた私が、今現在、そしてこれからについて思うことをお話しさせていただければと思います。

私は現在、電力会社に勤めています。今日において生活していく上で必要不可欠な電気を東北地方、新潟県のお客様へ安定的に日々お届けしています。一人一人個性の異なるお客様、さらには、会社の上司や同僚と接することで、私は、自身の未熟さを痛感する毎日です。少しずつ芽生えた自信や自負は瞬間に砕け、一人家に帰ると大きなため息を吐き出す日々を送る中でも、私は思うのです。電気を復旧したときにお客様からいただいた「ありがとう」と言う言葉を聞くと、「あと少し、もう少しだけ頑張ってみよう」と。俗に言う「やりがい」と呼べるものを、私は、見つけたのかもしれない。お客様一人一人の生活を支える。そんな仕事に携われたことを、私は誇りに思います。

さて、ここまでは、私の現在をお話させていただきましたが、最近、よく考えることがあります。それは、「私の進んだ道はこれで正解だったのか」ということです。現在の日本社会では、高校を卒業し、大学等へ進学する割合が多いように私は感じます。つまりそれは、私の選択が少数派に該当していることを意味します。なので、もし自分が進学していたら、今とは全く違う人生を歩んでいたのではないかと。そんな「たられば」を私は最近よく考えます。ですがそれは、そ

の業界において、何年何十年と関わり生きてきた上でおぼろげに分かってくるものと私は思います。冒頭でお話しましたが、これからのことについて思うことですが、これまでの文章をまとめ、私が言いたいことは、「後悔のない選択をする」ただそれだけです。例え、今の道で成功したとしても、挫折してしまったとしても、その先で選んだ道で、「自分は頑張ったんだ」と言える選択をしていこうと思います。それは単なる自己満足かも知れませんが、人生とはそういうものではないかと私は思います。

最後になりますが、本日はいただいた沢山の祝福と、今まで私たちが受けてきました全ての御恩に対し、心より感謝申し上げます。また、私の言葉を長きに渡りご清聴いただいた皆さまにも、厚く御礼申し上げます。新成人代表の挨拶とかえさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

